



# フロアトップ® #1400

コンクリート床用      優れた防塵性      低臭

フロアトップ#1400は、溶剤タイプの高性能を維持したまま、安全・手軽で溶剤臭のない水性塗床材です。つや有りタイプで床面を美しく仕上げるとともに、コンクリートの表面を保護し、ホコリの発生を防ぎます。火気を使う工場床や溶剤臭を嫌う場所の塗装に最適です。

安全性高く  
手軽に塗れる

## 特長

- 1. 塗装が簡単**  
水性一液型塗料のため、ローラーばけやはけで塗装できます。
- 2. 環境に優しい**  
水性塗料なので、VOC(揮発性有機化合物)の排出削減に貢献します。
- 3. 安全設計**  
非危険物で作業や保管の心配がなく、低臭タイプです。
- 4. 火気の心配がない**  
火気や溶剤臭を嫌う場所の塗装に最適です。

## 用途

火気があり溶剤タイプが使用できない工場床や溶剤臭を嫌う工場等

## 荷姿・塗り面積・標準色

**【荷 姿】** フロアトップ #1400 :  
15 kg / 石油缶、4 kg / 4L 丸缶 (受注生産)

フロアトップアクア 水性速乾プライマー :  
15 kg / 石油缶、4 kg / ポリ容器

**【塗り面積】**

コーティング工法 (2回塗り)	40 ~ 50 m <sup>2</sup> (15 kg)、11 ~ 13 m <sup>2</sup> (4 kg)
--------------------	--

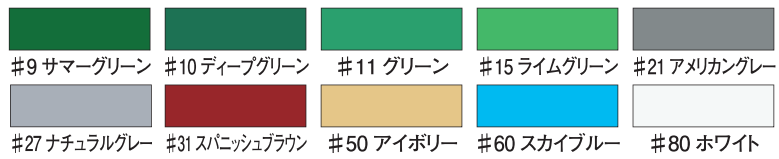
下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

**【安全性】**

製品名	文部科学省 学校環境衛生の基準 指定6物質	厚生労働省指針 環境13物質
フロアトップ #1400	非配合	非配合
フロアトップアクア 水性速乾プライマー	非配合	非配合

※女性労働基準規則対象26物質非配合

**【標準色】** 10色 (調色も承ります)



※日塗り色見本には無いため色見本を掲載します。  
※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。  
標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。



塗装色は指定色グレー

(一社) 日本塗料工業会登録 ホルムアルデヒド放散等級

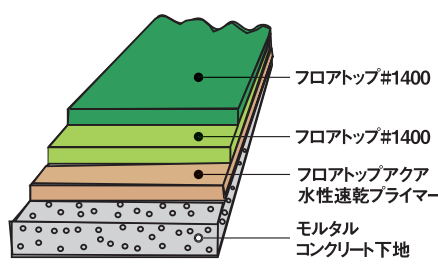
フロアトップ #1400	登録番号	A03049
	ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
フロアトップアクア 水性速乾プライマー	登録番号	A03207
	ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

消防法：非危険物



## 施工仕様例

### コーティング工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング工法 (CWS-Ⅲ) 
下塗り	フロアトップアクア水性速乾プライマー	—	—	0.15~0.20	1以上	
上塗り①	フロアトップ #1400	—	—	0.20	4以上	
上塗り②	フロアトップ #1400	—	—	0.15	—	

注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

## 注意事項

### 1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。

### 2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- 塗装間隔は厳守してください。プライマーの乾燥が不十分で上塗り塗装をした場合、上塗り塗膜にクラックが生じる恐れがあります。
- 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に十分に攪拌し、均一にした後に行ってください。

### 3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 養生時間 歩行開放=12時間 重量物開放=24時間以上 (気温23℃・湿度50%)
- 塗装具の洗浄には水をご使用ください。
- 塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようにご注意ください。
- 直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してください。

### 4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計 HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)

### 5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300



事業所情報



製品情報

<https://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ1400